



TITLE:

經濟心理學ノ組織的研究(一)

AUTHOR(S):

米田, 庄太郎

CITATION:

米田, 庄太郎. 經濟心理學ノ組織的研究(一). 經濟論叢 1917, 4(1): 57-70

ISSUE DATE:

1917-01-01

URL:

<https://doi.org/10.14989/127146>

RIGHT:

學大科法學大國帝都京

經濟論叢

號一第 卷四第

行發日一月一年六正大

論 說

官業問題ニ就キテ(一).....

法學博士

神戸正雄

體質廢頽問題(二).....

法學博士

財部靜治

戰時ノ我輸出品ノ粗製濫造(二完).....

法學博士

戸田海市

消費ニ關スル學說ノ發達(二).....

.....

瀧本誠一

經濟心理學ノ組織的研究(二).....

.....

米田庄太郎

米券倉庫ヲ論ス(二完).....

法學士

河田嗣郎

雜 錄

賤民名稱考.....

文學博士

新村出

女ニ子ヲ生マス政策.....

.....

米田庄太郎

原始亂婚ニ就イテ.....

文學士

高田保馬

寶曆ノ豫算.....

法學士

本庄榮治郎

歐洲ニ於ケル工場監督機關ニ就テ(二完).....

.....

山本美越乃

經濟雜話(七).....

法學博士

田島錦治

戰後ニ對スル二大準備.....

法學士

河田嗣郎

新著紹介及ビ寄贈書目

經濟心理學ノ組織的研究 (一)

米田庄太郎

(一)

夫レ經濟學輒近ノ發達ニ於テ著シク注目セラルル一傾向ハ、經濟現象ヲ心理學的ニ考察スルコトデアル。此傾向ハ澳大利派ノ研究ニ於テ始メテ顯著ニ現ハレテ來タノデアアルガ、併シ今日ニ於テハ何レノ派ニ屬スル經濟學者ニアリテモ心理學的考察ヲ輕視スルモノハアルマイト思フ。今ヤ心理學的考察ハ實ニ經濟學ノ根本的一方針トナツテ居ルノデアアル。米國ノ社會ノ學大家すも一る氏ハ其著「一般的社會學」⁽¹⁾ニ於テ澳大利派ノ創說者ト云ハルルめんがー氏ノ談話ヲ引用シテ下ノ如ク云ハレテ居ル。「昨年ノ夏かゝる、めんがー氏ハ氏ノ考フル處デハ澳大利派ト云フ言葉ハ今ヤ只純粹ナル歴史の意味シカ有シナイコトヲ余ニ話サレ、而シテ「余ガ嘗テ主張シタ總テハ今ヤ進歩的ナ總テノ經濟學者ニヨリテ實際上同化サレタ。其方面ニ於テ別ニ區別ヲ立テル理由ハ最早全ク存在シナイ」ト云ハレタ。實ニ澳大利派ハ經濟的諸勢力ニ於ケル心理的因素ノ爲メニ最後ノ決戰ヲ行フタノデアアル。此クテ人類ノ經驗ニ於ケル經濟的要素ハ總テノ他ノ諸要素ト同ジク心理學的解釋ノ適用シ得ラルルモノトシテ一般ニ承認サレテ來タノデアアル云々」。尙ホ經濟ノ發達ハ根本的ニ一定ノ心理的勢力ノ發達デアルト見テ、其階段分ケヲ心理化 Psychisieren シテ考察セントスル傾向ノ發達ニ付テハ、余ハ嘗テ國民經濟雜誌上ニ於テ公ニセル一論文中ニ稍詳シク論述シテ置イタ

(1) Small, General Sociology. 1905. P. 554.

(2) 拙稿經濟發達階段ノ心理化、國民經濟雜誌(明治四十五年四月號ヨリ八月號)

カラ、參考ニ供セラレダイ。

然ルニ今日經濟學者ノ一般ニ企ダテ居ル心理學の考察ニ就テ、特ニ注意ス可キモノガ二ツアル。一ハ彼等ノ實際上企ダテ居ル心理學の考察ハ主トシテ箇人心理學の考察ニシテ、社會心理學の考察ハマダ彼等ノ間ニヨク理解サレテ居ラナイ事ニシテ、二ハ彼等ノ心理學の考察ハ只或特殊ナ經濟現象或ハ經濟問題ニ施サレテ居ルダケデ、經濟學上ノ總テノ問題全體ニ付テ組織的ニ心理學の考察ヲ企ダタモノハマダ殆ンドナイコトデアル。是レ經濟心理學ノ研究ノ現狀ニ於テ特ニ法目ス可キ二ケノ缺點デアラウト思フ。サレバ今經濟心理學ノ健全ナル發達ヲ圖ラントスルニ於テハ、吾人ハ先ヅ第一ニ社會心理學の考察ヲ以テ箇人心理學の考察ヲ補ナハネバナラス。一層適切ニ云ヘバ箇人心理學の考察ヲ包括スル社會心理學の考察ヲ行ナハナケレバナラス。而シテ第二ニハ其ノ心理學の考察ヲ經濟學上ノ問題全體ニ亘リテ組織的ニ行ハネバナラス。ツマリ考察ノ見地カラ云フモ、亦取扱フ問題カラ云フモ一部分ニ偏セズシテ、少クモ形式上ニ於テ完全ト認メ得ラルル經濟心理學ノ發達ヲ企タテネバナラス。併シハ甚ダ困難ナ仕事デアツテ、是レガ爲メニハ今日經濟學者ガ一般ニ具備シテ居ルヨリハ遙カニ廣大ナル學問の修養ガ必要デアル。今日ノ經濟學者中マダカカル企ダテヲ起シタ人ノナイノハ敢テ怪ムニ足ラナイ。或ハ只經濟學者ノ力ノミデカカル企ダテヲ成就スルコトハ、到底不可能デアルカモ知レナイ。假令然ラザルモ此問題ニ付テハ社會學者殊ニ社會心理學者カ經濟學者ト大ニ協力スルコトガ必要デアル、少クモ有益デアルト思ハレル。社會學者ヤ社會心理學者ノ力ノミデ經濟心理學ノ健全ナル發達ヲ圖ルコトノ不可

能ナルハ云フマデモナイ。併シ彼等ガ若シ經濟現象ノ研究ニモヨク注意ヲ拂フニ於テハ、經濟學者ニ不足スル處ヲ補ナフコトニヨリテ、其ノ貢獻スル處ハ決シテ尠少デハアルマイト思フ。然ラバ社會心理學者ハ經濟心理學ノ發達ニ對シテ如何ナル貢獻ヲナシ得ルカ。是レ余ガ本論文ニ於テ少シク論ンジテ見タイト思フ問題デアル。併シ之ヲ單ニ抽象的ニ論述スルニ止メズ、實際上社會心理學ノ上カラ經濟心理學ノ組織的研究ヲ試ミタル社會學ノ一大家ノ著作ニ就テ、此問題ヲ具體的ニ論ジテ見ヤウト思フ。

抑々現代ノ社會學者中ニハモト經濟學ノ專攻者デアツタ人々ハ少ナクナイ。又諸種ノ社會科學者中デ社會學ニ興味ヲ有シ、或ハ之ヲ重要視スル人々ハ殊ニ經濟學者ニ多イノデアル。余ハ嘗テ萬國社會學會ノ會員ニ就テ調査シテ見タコトガアルガ、右ノ事實ハ甚ダ明白ニ現ハレテ居ルノデアル。⁽¹⁾隨フテ經濟現象ハ特殊の社會現象中社會學上ト最モ詳シク研究サレテ居ルモノノ一デアル。更ニ特ニ社會心理學ノ方面ニ注意スル社會學者ニアリテハ、種々ナル經濟現象ノ社會心理學的考察ヲ試ミテ居ル。併シ經濟心理學ノ組織的研究ヲ企ダテタモノハ舊師たゝるゝ先生ヲ除イテハ外ニ一人モナイト思フ。たゝるゝ先生ノ著作「經濟心理學」⁽²⁾二卷ハ今日ニ至ルモ尙ホ經濟心理學ノ組織的研究ヲ試ミタル唯一ノ著作デアルノデアル。然ルニたゝるゝ先生ハ經濟學カラ社會學ヘ移ツタ一人デナク、又嘗テ經濟學ノ研究ニ格別力ヲ盡クサレタ人デモナイノデアル。先生ハ本來哲學者デアル、一層詳シク云ヘハぎゆいよーヤにーつちえナゾノ如キ詩人的哲學者デアル。併シ科學的研究ニモ非常ニ興味ヲ有セシ人デアリ、且ツ永ク判事ヲ勤メテ居ツタ因縁カラ、先ヅ犯罪ノ研究ニ

(1) 拙稿民法ノ社會學的基礎ニ就テ、(京都法學會雜誌明治四十四年七月號)

(2) Tarde, La Psychologie Économique, 1902. 2 Volumes.

大ニ力ヲ盡クシ、伊太利派ノ犯罪學ノ勃興スルニ當テ、之レニ對シテ盛カンニ批評ヲ加ヘ、後佛蘭西派ト稱セラルル犯罪學派ノ基礎ヲ据エ附ケタノデアル。サレバ先生ハ先ヅ犯罪學者トシテ學界ニ名聲ヲ擧ゲタノデアルガ、併シ後ニハ主トシテ社會學ノ研究ニ力ヲ注キ、所謂心理學的社會學ノ創設者ノ一人トシテ世界の大家ト認メラルルニ至ツタ。而シテ千九百年ニこれじゆ、づ、ふらんすノ教授ニ任センゼラレ、近世哲學ノ講座擔任者トシテ社會學ヲ講ゼラルルヤ、當時所謂生物學的社會學ヲ壓倒シテ勃興シツツアリシ心理學的社會學ノ方針ヲ遵奉スル歐米諸國ノ社會學專攻者ハ、續々巴里ニ遊學シテ先生ノ講義ニ參シタノデアルガ、余モ其ノ一人トシテ米國ヨリ佛國ニ轉學シ、先生ノ講義ヲ聽キ、又先生ノ警咳ニ接シタノデアル。先生ハ其後數年ヲ經テ千九百四年五月忽然世ヲ去ラレタノデアルガ、千九百一年ヨリ同二年ニ亘ル學年ニ於テハ經濟心理學ヲ講ゼラレ、更ニ之ヲ修正増補シテ同年ノ末ニ「經濟心理學」二卷ヲ公ニサレタノデアル。而シテ此書ハ上ニ述ベシ如ク今日ニ於テモ尙ホ經濟心理學ヲ組織のニ論究セル唯一ノ著作デアル。箇人心理學的考察ヲ包括スル社會心理學的考察ヲ試ミテ居ルト云フ點ニ於テ、又經濟學上ノ殆ンド總テノ問題ニ亘リテ心理學的考察ヲ試ミテ居ルト云フ點ニ於テ、右ノ著作ハ少クモ形式上尤トモ完備セル經濟心理學上ノ著作デアルト思フ。但シ其内容ニ就テハ、經濟學者ヨリ見レバ種々批評ヲ加フ可キ點多ク、決シテ完全ナル著作トハ云ハレナイ。殊ニ先生ノ經濟學上ノ智識ハ主トシテ舊派ノ著作ヨリ得ラレタルモノト見ヘ、今日ノ經濟學者間ニ於テハ既ニ一般ニ放棄サレテ居ル様ナ見解ヤ學說ノ批評ニ、無益ナ勞力ヲ費ヤサレテ居ルガ如ク思ハル處モアル。先生ハ隨分種々雜多ナ書物

ヲ讀マレ、非常ニ博識ノ人デアツタコトハ、先生ノ著作ヲ一讀スレバ直チニ首肯サレルノデハ、或人ハ先生ヲ評シテ第十九世紀ノえんしくろべぢすとデアルト云フタ程デアル。併シ經濟學ニ關シテハアマリ新派ノ著作ニハ觸レナカツタ様デアル。是レ今日ノ經濟學者ガ先生ノ右ノ著作ヲ閱讀スルニ當テ、何人トナク物足ラヌ感ジノスル所以デアラウト思フ。併シ先生ハアマリ新派ノ經濟學上ノ著作ニ觸レズシテ而同様ノ論結ニ到達サレテ居ル處多キハ、大ニ注意ス可キ點デアル。トニカク右ノ著作ハ其ノ形式ニ於テ尤トモ完備セル經濟心理學上ノ著作デアルノミナラズ、又其ノ内容ニ於テモ經濟學上注意スル價值アル多クノ思想ヲ含蓄スルモノニシテ、社會心理學ガ經濟心理學ノ發達ニ如何ナル貢獻ヲナシ得ルカラ學ブニハ、先ヅ右ノ著作ヲ研究スルコトガ甚ダ有益デアルト思フ。要スルニ余ハたゝるど先生ノ「經濟心理學」ハ社會學ノ方面カラ見テモ、亦經濟學ノ方面カラ見テモ、經濟心理學ノ組織的研究ヲ試ミタル最初ノ著作ニシテ、又今日ニ於テモ尙ホ唯一ノ著作デアルト考ヘ、之ヲ批評的ニ考察スルコトニヨリテ、社會心理學ガ經濟心理學ノ發達ニ如何ナル貢獻ヲナシ得ルカラ、具體的ニ考究シテ見タイト思フノデアル。併シアマリ詳シク論述スル紙面ハナイカラ、自カラ只抽象的ナ論述ニ止メネバナラヌ場合ハ多イト思フ。讀者之ヲ諒察セラレヨ。

(二)

たゝるど先生ハ上ニ述ベシ如ク別ニ經濟學ヲ專攻シタ人デハナイガ、併シ早クヨリ經濟學ニ興味ヲ有ツテ居ツタコトハ、千八百八十一年ニ「哲學評論」ニ於テ公ニサレタ「經濟學ニ於ケル心理

學」ト題スル論文ハ、先生ガ最トモ早く發表サレタ論文ノ一デアルコトヲ見テ察セラレルノデアル。先生ハ又千八百八十八年ニハ「經濟學評論」ニ於テ「價值ノ二ツノ意味」ト題スル論文ヲ公ニサレテ居ル。又先生ノ二部作ト稱セラルル「模倣ノ法則」⁽³⁾、「社會論理」及ビ「宇宙の反對」ノ中ニハ夫レ經濟學上ノ諸問題ヲ詳論スル章ガアル。併シ經濟心理學ニ關スル先生ノ最トモ圓熟セル思想ハ、千九百二年出版ノ「經濟心理學」二卷ニ於テ最トモヨク窺ハレルノデアル。而シテ今此等ノ著作ヲ熟讀スルト先生ハ經濟學者間ニハアマリ知ラレテ居ラナイガ、併シ經濟學ノ知識モ決シテ淺薄デナカツタコトハ明ラカデアツテ、りえじゆ大學ノ教授まゑむ氏ガ「經濟心理學」ヲ評スルニ當ツテ「たゝるどハ哲學者デアリ、犯罪學者デアリ、殊ニ社會學者デアル。併シ經濟學ニモ亦ヨク精通シテ居ル」⁽⁴⁾ト云ハレタコトハ、決シテ過賞ノ言デハナイト思フ。但シ佛國知名ノ經濟學者中デたゝるど模倣說ノ經濟學上ノ意義ヲ最トモ早く認メタノハヂーゴ氏デアル。⁽⁵⁾茲ニ「經濟心理學」ニ於テ見ルガ如キたゝるど先生ノ圓熟セル經濟心理學の思想ノ發達シ來レル經路ヲ、先生ガ最初ニ公ニサレタ經濟學上ノ論文カラ順序ヲ追フテ段々ニ研究スルハ、今ヤ現代社會學史ノ研究上重要視サレテ來タたゝるど研究上甚ダ興味アル一方面ト思フガ、併シ其暇ハナイカラ、只「經濟心理學」ニ就テ先ヅ先生ノ圓熟セル思想ノ大要ヲ述ブルニ止メテ置ク。

(三)

却説たゝるど先生ノ經濟心理學ヲヨク理解スル爲メニハ、先ヅ先生ノ社會學ノ原理及ビ法則ヲヨク理解シテ置カネバナラス。蓋シ先生ハ先ヅ社會學ノ原理及ビ法則ヲ樹立シ、夫レヨリ之ヲ一

(1) La Psychologie en Économie politique. Revue Philosophique, 1881.

(2) Les deux Sens de la valeur. Revue d'Économie politique, 1883.

(3) Les lois de l'imitation. 1890. La logique sociale. 1893. L'opposition universelle. 1897.

(4) Ernest Mahaim, L'Économie politique de M. Tarde. Revue d'Économie Politique, 1903.

(5) Gide, Éléments d'Économie Politique. I. Ed. 1883.

切ノ社會現象ニ適用シテ、夫レ夫レノ社會現象ノ真相ヲ究明セント企テタノデ、先生ノ經濟心理學ト云フモツマリ、先生ノ社會學ノ原理及ビ法則ヲ特ニ經濟現象ニ適用シテ、其ノ真相ヲ究明セントスルモノニ外ナラナイカラデアル。但シ先生ノ社會學ト云フハ本來社會心理學的ノモノニシテ、其ノ社會學ノ原理及ビ法則ト云フハツマリ社會心理學ノ原理及ビ法則デアルノデアル。然ルニ先生ハ社會學ヲ一ノ科學トシテ其ノ成立ヲ論證セント努力シテ居ルニ係ラズ、其ノ内容ハ本來哲學的ノモノデアル。たゞるゝノ哲學ガ本來社會學的ノモノデアルト同時ニ、其ノ社會學ハ本來哲學的ノモノデアルコトハ今ヤ一般ニ認メラレテ居ル事實デアル。⁽¹⁾サレバ先生ノ社會學ノ原理ヲ理解スル爲メニハ、自カラ先生ノ哲學ノ原理ヲ研究シナケレバナラス。併シ茲ニ此等ノ問題ニ就テ別ニ詳シク論述シテ居ル暇ハナイデ、只經濟心理學ヲ理解スル爲メニ特ニ必要ナル社會學ノ原理ヲ極簡單ニ述ブルニ止メテ置ク。

今たゞるゝ先生ノ考フル處ニヨレバ、宇宙人生ノ一切ノ現象ニハ、只一度シカ起ラナイデ二度ト繰リ返サナイ特異的ナ純箇性的ナ方面ト、無限ニ繰リ返シテ居ル、或ハ繰リ返スト認メラルル方面トカ區別サレル。而シテ一切ノ類似ハ繰リ返シ、即チ反復ヨリ生ジ、差異ノ中ニ類似ヲ見出シテ立言セラルル普遍的トカ一般のトカ云フコトハ、ツマリ無限ニ反復スルコトヲ意味スルノデア。又法則ト云フハツマリ普遍的一般のナ方面ヲ包括シテ簡單ニ云ヒ表セル公式ニ外ナラナイ。サレバ科學ハ普遍的概念及ビ法則ヲ構成スルコトヲ目的トスルモノデアルト觀念セラルル以上ハ、結局科學ハ反復ヲ基礎トシテ成立スルモノト考ヘネバナラス。反復ハ實ニ科學ノ依テ以テ成

(1) Renè Worms, La Philosophie Sociale de G. Tarde. Revue Philosophique, 1905. Dauriac, La Philosophie de Tarde, Année Philosophique, 1905. Bertrand, un essai de Cosmologie Sociale. Les thèses monadologiques de Gabriel Tarde. Archives d'anthropologie criminelle, 1904.

立スル基礎ニシテ、反復ガナクレバ科學ハ成立シナイノデアル。要スルニ科學ハ根本的ニハ反復スル現象、或ハ宇宙人生ノ反復スル秩序ヲ研究スルモノデアル。之レニ對シテ藝術ハ只一度シカ起ラナイ二度ト繰リ返ヘサナイ、殊ニ瞬間的ニ生滅スル特異的ナ純簡性的ナ方面ヲ捕ヘテ、之ヲ永久化スルモノデアル。而シテ哲學ハ其等ノ兩方面ヲ包括シテ、其ノ最高ナ複合ノ相ニ於テ宇宙人生ヲ考察スルモノデアル。

今科學ノ本質ハ上ニ述ベシガ如キモノデアルカラ、何レノ科學モ獨立ナル一科學トシテ成立スル爲メニハ、夫レ自身特有ノ反復ヲ其ノ對象トシテ具ヘテ居ラネバナラス。而シテ宇宙人生ノ一切ノ現象ニ於テ反復ハ三大形式ヲ示ス。一ハ物理現象ニ於テ現ハルル反復ノ形式ニシテ即チ波動デアル。二ハ生物現象ニ於テ現ハルル反復ノ形式ニシテ即チ遺傳デアル。三ハ社會現象ニ於テ現ハルル反復ノ形式ニシテ即チ模倣デアル。此クテ物理學ハ波動ヲ夫レ自身特有ノ反復ノ形式或ハ領分トシテ有スル故ニ、獨立ナル一ノ科學トシテ成立シ、生物學ハ遺傳ヲ夫レ自身特有ノ反復ノ形式或ハ領分トシテ有スルガ故ニヤハリ獨立ナル一ノ科學トシテ成立スルノデアルガ、社會學モ亦模倣ヲ夫レ自身特有ノ反復ノ形式或ハ領分トシテ有スルガ故ニヤハリ獨立ナル一ノ科學トシテ成立シ得ルノデアル。然ルニ從來社會學者ハ此ノ事實ヲ觀破セズシテ社會學ヲ建設セントシタカラ、或者ハ之ヲ物理學ノ一分科デアルガ如クニ觀念シ、殊ニ之ヲ生物學ノ一分科デアルガ如クニ觀念スルモノ甚ダ多クシテ、所謂生物學的社會學ナルモノガ、一時學界ヲ風靡スル狀態ヲ呈シタノデアル。併シ其後社會現象ハ物理現象トハ本來異ナレル或物ヲ有スル特異ナ現象デアルバカリデナ

ク、假令生物現象トハ甚ダ親密ナル關係ヲ有スルニセヨ、ヤハリ是レトモ異ナレル特質ヲ有スル特別ナ現象デアアルコトガ、段々明白ニ理解サレテ來タ。随フテ只生物學的ニ社會現象ヲ研究スル以上ハ、其研究如何ニ精細ヲ極ムルモ、到底社會現象ノ本質ヲ究明シ難イコトガ理解セラレ、茲ニ生物學ヨリ獨立スル一科學トシテ社會學ヲ觀念シ、又之ヲ建設スルノ必要ガ認めラレテ來タ。此クテ獨立ナル科學トシテノ社會學ノ概念ヲ樹立セントスル幾多ノ企ダテガ起ツタガ、而モマダ何人モ上述ノ理ヲ會得シテ居ラナイガ爲メニ、其論據薄弱ニシテ、一般ノ承認ヲ得テ居ラナイ。要スルニ獨立ナル一科學トシテ社會學ノ概念ヲ確立スルニハ、上述ノ理ヲヨク理解シテ先ツ社會學特有ノ對象トナル反復ノ特定ノ形式或ハ領分ノ存在スルコトヲ證明シナクレバナナイノデアアル。

以上述ベシ如ク科學ハ反復ヲ基礎トシテ成立シ、而シテ反復ノ形式ノ根本的區別ニヨリテ夫レ夫レ獨立ナル科學ハ成立スルノデアアルカラ、何レノ獨立ナル科學ニ於テモ先ヅ其ノ特有ノ反復形式ノ原理ト法則トヲ研究セトバナラヌ。是レ科學ノ第一ノ職分デアアル。科學ハ根本的ニハ先ヅ反復ノ方面カラ見タル現象ノ秩序デアアル。因果關係ノ發見ヲ以テ科學ノ精髓ト見ルハ一般ニ行ハレテ居ル見解デアアルガ、併シ一層深ク考フレハ此ノ見解ノ穩當デナイコトガ直チニ理解サレル。如何ニ確實ナル因果關係デモ、若シ只一回シカ起ラナイモノデアラバ、夫レハ科學ニ於テ別ニ意味ノナイモノデアアル。因果關係ガ無限ニ繰リ返スモノデアリ、或ハ繰リ返スト認メラレルモノデアアルニ於テ、茲ニ始メテ科學上意義アルモノトナルノデアアル。サレバ科學ニ於テ最トモ根本的ニ重要ナルハ因果關係其物デハナクシテ、其ノ無限ニ反復スル事デアアルノデアアル。而シテ此ノ事ハ更ニ

因果關係ニハ全ク注目シナイデ只反復ノミヲ對象トスル數學ガ、最トモ勝レタル科學或ハ科學ノ標本トシテ認メラレテ居ルコトヲ考フレバ、甚ダ明白ニ理解サレルノデアル。此クテ反復ハ科學ノ生命デアルトモ考ヘ得ラレ、隨フテ反復ノ原理ト法則トヲ研究スルコトハ、科學ノ第一ノ職分デアル。併シ夫レガ科學ノ職分ノ全體デハナイ。只反復ヲ研究スルダケデ科學ノ職分ハ盡キルノデハナイ。蓋シ宇宙人生ノ現象ハ只反復スルダケノモノデナイカラデアル。宇宙人生ノ現實ナル現象ハ只反復スルダケニ止マラス。其ノ上ニ又反對シテ居ル。更ニ適應シテ居ル。宇宙人生ノ諸現象ハ反復ニヨリテアルガママニ保存セラルルト同時ニ、反對ニヨリテ破壊セラレ、又適應ニヨリテ常ニ新シキ或物ヲ產出スル。之レ宇宙人生ノ現象ノ全光景デアル。サレバ反復ハ基礎デアルガ、只夫レダケヲ研究スルダケデハ、十分ニ宇宙人生ノ現象ヲ理解スルコトハ出來ナイ。吾人ハ更ニ反對及ビ適應ヲ研究セネバナラス。而シテ反復ノ三大形式ハ又夫レ夫レ特有ノ反對及ビ適應ヲ伴ナフテ居ル。波動ニ伴ナフ特有ノ物理的反對及ビ適應ガアリ、又遺傳ニ伴ナフ特有ノ生物的反對及ビ適應ガアリ、更ニ模倣ニ伴ナフ特有ノ社會的反對及ビ適應ガアル。サレバ科學ノ成立及ビ職分ヲ一層精確ニ決定スレバ左ノ如ク云ハネバナラス。即チ科學ハ其ノ特有ノ對象トシテ特別ナル反復ノ形式或ハ領分ト、之レニ伴ナフ特別ナル反對ノ形式或ハ領分并ニ特別ナル適應ノ形式或ハ領分ヲ有スルニ於テ成立シ、而シテ其ノ特別ナル反復、反對及ビ適應ノ原理并ニ法則ヲ研究スレコトヲ其ノ職分トナスモノデアル。併シ茲ニ更ニ注意ス可キ點ガアル。夫レハ反復ト反對ト適應トノ三者ガ科學上ニ有スル重要ノ差異デアル。

今反復ガナケレバ科學ハ成立シナイノデアルカラ、反復ハ先ツ科學成立ノ基礎デアル。併シ反復ハアリノママノ繰リ返シデアツテ何等創造的意義ヲ有シナイ。サレバ反復ヲ研究スルダケデハ宇宙人生ノ進化發展ハ全ク理解サレナイ。而シテ反對ハ本來破壊的ノモノニシテヤハリ創造的ノモノデナイ。反對ハ精々ノ處デ創造ヲ呼び起ス間接的條件トナリ得ルダケデアル。サレバ反對ノ研究ニヨリテモ吾人ハ宇宙人生ノ進化發展ヲ理解スルコトハ出來ナイ。然ルニ適應ハ本來創造的ナル協力の生産ノ關係ヲ意味スルモノニシテ、吾人ハ之ヲ研究スルコトニヨリテ、始メテ創造ノ意義ヲ會得シ、宇宙人生ノ進化發展ヲ理解スルコトガ出來ルノデアル。更ニ反對ハ反復ト適應トノ中間ニ位シテ、少クモ理論上早晚消滅ス可キ中項的性質ノモノデアル。此クテ吾人ハ反復ノ研究ハ科學ノ基礎ニシテ、適應ノ研究ハ科學ノ本質デアリ、而シテ反對ノ研究ハ只一時的效用シカ有シナイモノト考ヘネバナラナイノデアル。然ルニ近世ノ科學殊ニ生物學ニ於テハ此理ヲヨク會得セズシテ、反對ノ一種タル生存競爭ヲ最トモ根本的ナル進化發展ノ原理ト看做シ、生物ノ進化發展ヲ根本的ニ生存競爭及ヒ自然淘汰ノ原理ニヨリテ説明セントスルハ、大ナル謬見ト云ハネバナラヌ。本來破壊的性質ノモノニシテ創造的效力ヲ有シナイ、或ハ只創造ノ間接的ナ條件トナルニ過ギザルガ如キ生存競爭ヲ以テ、生物界ニ於ケル創造即チ進化發展ノ根本的原理ト見ルハ甚シキ謬見デアル。吾人ハ本來創造的ナル適應ノ原理ニヨルニ非ラズハ、生物ノ進化發展ノ眞義ヲ到底理解スルコトハ出來ナイノデアル。而シテ近來生物學ニアリテモ、段々此理ガ覺ラレテ、生存競爭及ヒ自然淘汰ハ種ノ進化ニ於テ、只消極的ナ意義シカ有シナイモノト見ル見解ノ發達シツツアルハ、大

ニ喜フ可キ傾向デアル。種ノ起源ハ細胞内ニ於ケル遺傳ノ微妙ナル適應ヨリ生起スル變易ニアルト考ヘネバ、到底之ヲ理解スルコトハ出來ナイノデアル。然ルニ所謂生物學の社會學者ガ、生物學ニ於テモ進化發展ノ原理トシテ其ノ甚タ不充分ナルコトガ段々承認サレテ來テ居ル生存競争及ビ自然淘汰ノ原理ヲ其儘ニ社會學ニ移シ、之ヲ以テ社會生活ノ進化發展ヲ説明スル根本原理トナサントスルハ、甚シキ妄見デアルト云ハネバナラヌ。吾人若シ何等ノ偏見ニ囚ヘラレズシテ社會現象ヲアルガ儘ニ考察センガ、其ノ進化發展ノ根本原理タルモノハ適應ニシテ、反對ニアラザルコトハ、生物現象ニ於テヨリモ一層明ラカニ認め得ラルルノデアル。

尙ホ反復ト適應トノ關係ニ就テ少シク論ンジテ置キタイト思フガ、反復ハ反對ノ基デアルト同時ニ又適應ノ基デアル。反復ガ行ハルルニヨリテ、反復スルモノト反復スルモノト間ニ反對ガ起レバ、又適應モ起ルノデアツテ、反復ガナケレバ反對モ亦適應モ起ラナイ。併シ更ニ一歩進ンデ何ガ反復スルカラ考フレバ、夫レハ創始デアル、特ニ生物現象ニ就テ云ヘハ變異デアリ、社會現象ニ就テ云ヘハ發明デアル。然ルニ創始トカ、變異トカ、發明トカ云フハ、結局適應ノ諸形態ニシテ、此等ハ悉ク適應ニ還元サレルノデアル。シテ見ルト適應ハ反復ヨリ起ルカ、併シ反復スルモノ其物ハ適應デアルノデアル。サレバ宇宙人生ノ一切ノ現象ハ結局適應ヨリ出發シ、反復シ、反對シテ更ニ一層高等ナ複合のナ適應ニ歸ルト云ハネバナラヌ。而シテ反對ハ上ニ述ベシ如ク中項の性質ノモノデアルトスレバ、宇宙人生ノ一切ノ現象ニ於テ根本的ニ意義アルハ、適應ト反復トノ二者ニシテ、兩者ガ循環的ニ進動スル處ニ、即チ適應ガ反復シ、而シテ反復スルモノト反復

スルモノトカ適應シテ一層高等ナル適應ガ生レ、更ニ其ノ適應ガ反復シテ又高等ナル適應ガ生レテ反復スルト云フ處ニ宇宙人生ノ眞義ガアルノデアル。

要スルニ科學ニ於テ根本的ニ重要ナルハ反復ト適應デアルガ、併シ現實ナル一切ノ現象ニ於テハ反對モ亦輕視ス可カラザル役目ヲ演ンジテ居ル。サレバ形式的ニ見レバ科學ノ職分ハ其ノ對象トスル現象ニ於ケル特有ノ反復、反對及ビ適應ノ原理及ビ法則ヲ研究スルコトデアルト云ハネバナラス。而シテ吾人ハ此ノ如キ科學概念ニ基ツイテ、始メテ社會學ヲ獨立ナル一科學トシテ正當ニ建設スルコトガ出來ルノデアル。

(四)

前節ニ於テ論述セル處ニヨリテ考フレバ、社會學ハ社會現象ニ特有ナル反復ノ形式ハ即チ模倣デアルヲ確定スルコトニヨリテ、先ヅ獨立ナル科學トシテ成立スル。而シテ先ヅ第一ニ模倣ノ原理及ビ法則ヲ研究スルコトガ其ノ職分デアル。次ニ社會學ハ模倣ヲ其ノ特有ノ反復形式トスル社會現象ニ特有ナル反對即チ社會的の反對ノ原理及ビ法則ヲ研究セネバナラス。而シテ社會現象特有ノ反對ト云フ可キモノハ戰爭ト競爭ト議論トノ三者デアル。但シタ_レる_レど先生ハ競爭ト云フコトヲ特ニ經濟上ノ意義ニ解シテ居ル。夫レヨリ社會學ハ社會現象ニ特有ナル適應即チ社會的の適應ノ原理及ビ法則ヲ研究セネバナラス。而シテ_レた_レる_レど先生ハ社會的の適應トハツマリ發明デアルト解スルノデアル。終リニ社會學ハ其等ノ三者ノ關係ヲ研究セネバナラス。要スルニ社會學ハ模倣、社會的の反對及ビ發明ノ原理及ビ法則ト此等ノ三者ノ關係トヲ研究スル科學ニシテ、而シテカカル

科學トシテ始メテ獨立ナル一科學トナルノデアル。

以上述べシたゝるど先生ノ科學概念論及ビ社會學概念論ハ、先生ノ三部作ヲ始メ其他多數ノ著作及ビ論文ニ論述サレテ居ルコトヲ、余ノ見ル處ニ從フテ包括的ニ約說シタモノデアルガ、尙ホ先生自身モ「社會心理學研究」⁽¹⁾ノ中ニ收メラレテ居ル一論文及ビ「社會法則論」⁽²⁾ノ序論中ニ於テ、簡單ナル包括的論述ヲ試ミラレテ居ルカラ、合セテ參考ニ供セラレタイ。而シテ特ニ摸倣ノ法則ヲ詳シク論述セルモノハ同シク三部作中ノ「宇宙的反對」、而シテ特ニ發明ノ法則ヲ詳シク論述セルモノハヤハノ三部作中ノ「社會論理」デアル。併シ先生ノ立說サレタ摸倣ノ法則ヤ、社會的反對ノ法則ヤ、又發明ノ法則ニ就テハ、茲ニ特別ニ說述シテ居ル餘白ハナイカラ、次ニ先生ノ經濟心理學ノ大要ヲ述ブル中ニ含メテ述ブルコトスル。

尙ホたゝるど先生ノ經濟心理學ヲ研究スルニ先ダチ簡單ニ論ンジテ置カネバナラヌ二ケノ問題ガアル。一ハ先生ノ哲學ノ根本的一原理デアリ、又社會學上ニ於テ甚ダ重要ナル地位ヲ占メテ居ル信欲說 La théorie de la croyance et du désir ニシテ、二ハ「心トモノ心理學」 La Psychologie interne ou l'interpsychologie ノ概念デアル。(未完)

(1) Études de Psychologie Sociale. 1898. La Sociologie.

(2) Les lois Sociales. 1898. Introduction.